

事例 34 ICT を活用した森林調査方法等の民有林への普及 (近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署)



・滋賀県おうみはちまん近江八幡市 おくしまやま奥島山国有林

- ・(左) 現地検討会の様子 (ドローンのデモ飛行) (令和5(2023)年12月)
- ・(右) 現地検討会の様子 (スマートグラスの体験) (令和5(2023)年12月)

国有林野事業では、ICT を活用した効率的な森林調査方法について、現地検討会等を通して民有林への技術の普及を行っています。

滋賀森林管理署は、令和5(2023)年12月21日に地上レーザスキャナとドローンによる森林資源解析についての現地検討会を開催しました。検討会には、県、市町村や林業事業者などの関係者が参加し、ドローンの飛行や森林資源解析ソフトを使用したAIによる樹種解析、スマートグラスを通して計測データを林内で確認できるシステムの体験等を行いました。その後の意見交換では、「最新のICT機器に触れることができよかった」、「現在の業務の効率化を目的に森林資源解析ソフトや地上レーザスキャナの活用を行っていききたい」などの意見がありました。

今後とも、ICT を活用した森林管理を推進していくとともに、地域の森林・林業の発展に貢献できるよう取り組んでいきます。